（別紙4（2））

事業所名：　グループホーム　ゆうゆう

作成日：　平成　28　年　4　月　10　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	万が一身体拘束をせざるを得ない場合には、家族との承諾を取り交わし、期間を明記する事を提案する。	現在「身体拘束ゼロへの取り組みについて」のマニュアルを作成し、説明した上で同意書にサイン・印を頂いているが、今後Drの指示により身体拘束を実施する場合、実施する理由・方法・期間を明記した同意書を作成し家族の同意を得て、サイン・印を頂くようにしていく。		2ヶ月
2	13	備蓄・緊急持ち出し品、保管場所を整備されることに期待したい。	備蓄品は、各ユニットごとに倉庫に保管している。緊急持ち出し品は、カルテ専用のワゴン車に乗せて事務所の窓際に置き、いつでも持ち出せるようにしているが再度検討を行ってみる。		2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。